※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ Next」　（数研出版）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を主とし、タイピングの反復練習などで基礎的な技能の向上を図る。
・実例をあげて、情報化による問題点について考え、情報モラルの育成を図る。
・ネットワークについて理解を深め、利用方法やルール等について理解する。
・情報の表現と伝達手段として、プレゼンテーション実習を行う。
・情報システムが社会へ与える光と影を認識し、正しい情報モラルを身につける。

２　学習の到達目標

（１）効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め情報を収集、処理、表現するための基礎的な技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
（２）様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報機器や情報通信ネットワークを適切かつ効果的に活用する力を養う。
（３）情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報化が社会に及ぼす影響を理解したうえで、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報社会における情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解しており、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付けている。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会の問題解決	・ネットワークの仕組み 校内と校外のネットワーク ・コンピュータの基本操作 タイピング、ビジネス文書 ポスター作成 ・共有フォルダ等の利用方法	a：インターネットの接続には技術やルールが必要であることが理解できる。 b：身近なインターネット環境の接続についてその様子を説明できる。 c：インターネットの接続について関心がある。	授業内課題	プリント記述 成果物	プリント記述 学習状況の観察
	コンピュータとプログラミン	・電子メールの利用とマナー ・ネットワークの仕組み ・サイバー犯罪の現状と対処法 ・コンピュータのしくみ ・プログラミング ・モデル化とシミュレーション	a：プログラムの言語使用を理解している。 b：アルゴリズムをプログラム言語で表現できる。 c：プログラムの記述と実行に関心がある。	実技テスト 定期考査	成果物 定期考査	成果物
後期	コミュニケーションと情報デザイン	・ネットワークとコミュニケーション 個人情報 SNSの利用法	a：コミュニケーションやＳＮＳの利点と欠点が理解できる。 b：ＳＮＳでの自己表現ができる。 c：匿名のコミュニケーションやＳＮＳのルールやマナーを考えることが出来る。	プリント記述	プリント記述 授業内課題	プリント記述 授業内課題
	情報通信ネットワークとデータの活用	・データの入力や関数 計算 グラフ作成	a：表計算ソフトウェアの基本操作について理解している。 b：得られた情報を分かりやすく表現することができる。 c：ワークシートの数式や書式について積極的に考えている。	授業内課題 実技テスト	学習状況の観察	授業内課題 学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

		・プレゼンテーション実習 ソフトの操作方法 調べ学習 発表	a: ＩＣＴを活用してプレゼンテーションする際の基本的な態度や方法を理解している。 b: 自分の意見を聞き手の状況や反応を意識して発表できる。 c: プレゼンテーションを行う姿勢が身に付いている。	実技テスト 定期考査	学習状況の観察 プリント記述 成果物 定期考査	学習状況の観察 プリント記述 成果物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度